

1 学校評価について

本校では、「時習、自律、慈愛」の校訓のもと、一人ひとりを大切にされた指導を目標に教育活動を行っています。本校の教育活動が適切に実施されているかを、この学校評価事業を通して検証し、常にPDSCサイクルに基づいて、教育活動の省察を心がけ、改善を図っていきたいと考えております。

2 学校評価アンケート結果

(1) ① 主な生徒アンケートの結果 (高校)

質問項目	1年	2年	3年
授業がわかりやすい	81%	90%	81%
進路指導、相談が充実している	81%	78%	78%
授業でICT機器が積極的に用いられている	76%	88%	79%
特別講座の内容は充実している	73%	81%	71%
基礎的な学力が向上した	75%	83%	82%
基本的な生活習慣が身についた	80%	81%	76%

② 主な生徒アンケート結果 (中学)

質問項目	1年	2年	3年
授業がわかりやすい	88%	83%	79%
授業の内容や進め方が工夫されている	88%	83%	95%
課題は適切かつ適量が出されている	76%	92%	74%
放課後の個別学習等は学力向上に役立っている	76%	58%	74%
考査計画を立て、考査計画表に基づいて学習できた	71%	92%	84%

生徒アンケートでは、高校と中学で学習環境が若干異なるため、質問項目も異なる。授業、学力の向上、進路指導など、おおむね良好な結果を得ている。ICT機器の活用について、学年により少しばらつきがあるので、来年度に向け、有効活用を計画していきたい。

中学でも授業に対して、おおむね、良好な結果を得ている。中学2年生において、個別学習が学力向上に役立っていると考えた生徒が6割弱に留まっている（ただし、保護者アンケートでは役に立っていると回答された方が100%であった。）ので、来年度以降、個々に状況を確認しながら、きめ細かな指導を徹底していきたい。

(2) 保護者アンケートのまとめ

保護者アンケートについては、高校では、きめ細かな学習指導や、進路指導、相談、ICT機器の活用状況などの項目で、いずれも8割弱から8割強の方が良好であると回答しており、今後も継続して、一人ひとりを大切にする指導を継続していきたい。中学では「ユネスコスクールの活動は子どもの成長に役立っているか」という問いに対し、7割弱の保護者の方から良好な回答が得られた。今後、総合学習の効果について、より保護者にも伝わる形で、生徒の主体的で対話的な学びの実現を図っていきたい。

(3) 学校関係者評価のまとめ

父母師会役員3名により、11月に実施。授業風景、購買、寮での昼食の様子、放課後部活動等の見学、教員、生徒複数からの聴き取りを通して、それぞれ意見をいただいた。意見の概要は以下のとおりである。

授業の見学では、生徒が静かに授業に取り組んでいる様子や特進コースでタブレットを活用している生徒の様子などが見られ、落ち着いた雰囲気を感じた。生徒たちは真面目に清掃に取り組んでいて、清掃はとて行き届いており、トイレもとてもきれいであった。生徒は自ら進んで挨拶、お辞儀をしていた。寮で温かい出来たてのご飯が食べられることについて、寮から弁当を運んで食べていた30年ほど前の頃と比べるととても良い。部活動の見学においても積極的に活動している様子が見られ、体育館の照明もLED化され、とても明るい感じを受けた。生徒や先生方との面談では、生徒と教師の距離が近い点の良さをあげる生徒や、各教室に配備されたスクリーン、プロジェクターを使用した授業はわかりやすいという生徒がいた。一方で、教室のエアコンの位置が良くないので、空気循環用の扇風機を置いてほしいという要望や、ipadが規制がかりすぎていて、検索しようとしても思うようにできないので改善してほしいという要望があった。また、役員の方々の意見として、ホームページが重く、知りたい情報がすぐに見つけられなかったり、基本的な情報がわかりにくかったりするので、改善してほしいという声があった。

(4) 省察

学校関係者評価で指摘を受けたホームページの改善については、現在、取り組んでいるところであり、今後も、見やすく、わかりやすいホームページとなるよう情報を発信していきたい。

生徒、保護者のアンケートから、改善すべき点を分析し、改善に向けて取り組んでいく予定である。また、アンケートの項目によっては、漠然としていて具体的な内容が把握しづらいものがあったため、今年度、学校として検討を加え、来年度からは、新たな具体的項目を中心としたアンケートとし、改善につなげやすいものとしていこうと考えている。